

悪童日記

飲み会で教えてもらったので、アゴタクリストフの「悪童日記」を読んできた。
... すごい重い話がたんたんと書かれている。
訳者の解説を読んで、「事実」として書かれていて共感する余地がないから、と、
書かれていて納得。
一気に「ふたりの証拠」と「第三の嘘」まで読んでみた。
何度か読むと感想かわるかもしれないなあ。